

◎ 月一報恩講(寺子屋サロン)：13時30分～15時
開催日は28日に固定し(土日なら直前の金曜日に変更)、

親鸞聖人の御命日にちなみ「月一報恩講」と呼ぶことにします。

月毎のテーマ

7/26(金) (雑談しながら)仏具のお磨き

8/28(水) 「死を語ろう」

9/27(金) 「宗教とは何か」

◎ 死別の分かちあいの集い：13時～15時

・夫を亡くした方：毎月第1土曜日(7/6・8/5・9/2・10/7)

・自死遺族の方：毎月最終土曜日(6/29・7/27・8/31・9/28)
当事者の方々分かちあいの集いです。住職も参加します。

◎ 整体教室・ヨガ教室・よろず相談会

毎月開催していますが、日にちや曜日を固定していないので、
お寺の掲示板をご覧いただか、お寺までお問い合わせください。

◇ 寺院護持費(墓地管理費)について

例年、原爆の日やお金の時期にお納めいただく方が多く、
玄関が混み合います。お振り込みもどうぞご利用ください。

【ゆうちょ銀行】 15190-55770601】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込まれる際は、
次のように入力してください。



林鶯山
憶西院

超覚寺

RIN-O-ZAN OKU-ZEI-IN CHO-KAKU-JI
〔since 14歳2162, 西暦1619, 元和5〕

〒730-0013 広島県広島市中区ハーナ堀 5-2
Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : <http://www.namuamidabutsu.com>

発行人:超覚寺住職 和田隆彦(糸隆恩) (*--*)人 i~合掌

2024年7月夏 超覚寺報 第62号 【ハーナ堀だより】



浄土真宗(真宗大谷派・東本願寺)

**【名義】 チョウカクジ
【店名】 五一八(読み ゴイチハチ)
【店番】 518(普通預金) 5577060**

◇ 報告・連絡・“僧”談

今年の広島のプロスポーツは応援のし甲斐がありますね。サンフレッチェ広島の新サッカースタジアム完成!バスケットボールの広島ドラゴンフライズ初優勝!! 広島カープが首位(6/25現在)!! 8月末の広島vs阪神のマツダスタジアムチケットがありますので、一緒に応援に行きませんか。

超覚寺 夏の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりのこと、ありがとうございます。さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<――>

◎ 原爆の日の法要

8月6日(火) 8時15分 広島原爆の日 1分間黙祷

8月9日(金) 11時02分 長崎原爆の日 1分間黙祷

8/6の夕方には、広島市内の各宗派の僧侶が平和公園の原爆供養塔(無縁の御遺骨を納めている)の前で法要を勤めます。
この法要はあまり知らないので参詣者は少ないので、お参りしてみませんか。

◎ 孟蘭盆会(戦争死没者追弔会)の法要

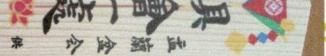
8月14~16日(水・木・金) 10時~10時30分

ご先祖さまを敬い、わが身の四苦八苦の問題を見つめ直すご縁にしましょう。
※ お盆・初盆の読経は、希望日時が重なりやすいので早めにご連絡ください。
※ お盆期間中、本堂を開放しております。どうぞ阿弥陀如来にお参りください。
※ 広島県南部の伝統供物【盆燈籠】は、以前は禁止していましたが、今ではお墓の周りにお供えできます。超覚寺では、墓参札・墓花・お線香のみ販売しておりますので、盆燈籠は他のお店でご購入、ご持参ください。
※ 境内の駐車場は6台まで、満車の際は近所の駐車場をご利用ください。
※ 8/17以降に墓地を清掃し、墓参札・墓花・盆燈籠を片付けます。

※ お墓参りができない方は、住職が代行でお参りいたします。

墓花・盆灯籠・墓参札もお供えいたしますので、どうぞ連絡ください。

超覚寺オリジナル墓参札



◇ 合同墓芳名板

墓地奥に合同墓がありますが、設置時の想定以上に申し込みが多く、石板の芳名板が満杯になりましたので、金属製の芳名板に変更しました。関心のある方は、どうぞお寺までお問い合わせください。



② 4/8: 祀尊降誕会

今年も4月1日から花御堂(はなみどり)を掲示板の前に設置しました。甘茶を入れた器の中に誕生仏(生まれたてのお釈迦さまのお姿)があり、そこに甘茶を掛けます。動作を伴う儀式が少ない浄土真宗では、誕生仏への甘茶掛けは稀有な作法になります。花御堂は、普通は本堂の中や入口に置かれますが、超覚寺では門の外に設置するので、通勤通学の方々も楽しそうにお参りくださいました。

今年は、水引細工と菩提樹葉のペアを記念品として1日50枚用意していましたが、毎日午前中に無くなるほどお参り頂きました。毎日持っている方もいるでしょうが、甘茶の器にお賽銭される方も例年以上に多くて有り難いことでした。盗難を心配されますが、人通りの多さのおかげか、その様な事態は全くありません。来年の記念品もお楽しみに。

◇ “寺”後報告
① 3/17:春の法要



3月の寺報の発送が遅れ直前の告知が間に合わず、また雨天でもあって、例年の半数ほどのお参りでしたが、いつも通りの篤い御法座になりました。

勤行後のあいさつで私が能登半島地震や東日本大震災に触れたので、祖父江先生もそれを受けて、ご自身の震災への想いや死別体験をお話しさされました。後半は、法然上人と親鸞聖人の承元の法難の場面をお説きくださいました。

祖父江先生は、勤行から御門徒のお見送りまでずっと本堂の居られて、控室に戻ることはなさいません。実は私もそれを真似ていますが、このお寺でも驚かれるので、そこまでする僧侶は少ないんでしょうね。なお、この度の御法座への御布施・御供は、全て能登半島地震救援金として寄付しました。

今年は5/19の祖父江先生のお寺の御法座に招かれました。そこでは親鸞聖人のご生涯を法然上人とのご縁を柱にお話させて頂きました。

◎ 秋季彼岸会(永代経)法要

9月21日(土) 13時30分～ 勤行:住職

14時～ 15時30分(休憩有)

大袈裟ではなく、東本願寺の僧侶で日本一法話をしている方です。他の宗派の西本願寺や浄土宗の寺院でもお話されます。毎年この日、こっそり聴きに来ているお坊さんが幾人もいます。決して易しくはないですが、熱量がハンパない法話は見応え聴き応え充分です。

◎ 報恩講法要

11月16日(土) 13時30分～ 勤行:市内法中

14時20分頃～15時30分

法話・歌唱:大西貴浩師(声楽家・日本歌曲歌手)

今回も昨年に続き珍しい大谷派僧侶の方をお招きします。大西貴浩先生は、上智大学文学部社会学科を卒業後、一般企業での社会人経験を経て、日本オペラ協会オペラ歌手育成部第3期修了。藤原歌劇団員を経て、現在フリーで活動されています。

2014年12月、熊野本宮大社での奉納演奏を皮切りに、伊勢神宮内宮、出雲大社、伏見稻荷大社、春日大社、上賀茂神社、下鴨神社、住吉大社、金刀比羅宮など全国数十社で日本のうたの奉納演奏を行われました。童謡・唱歌から芸術歌唱曲まで幅広く日本歌曲を専門とし、美しい日本語の発音、言葉の一つ一つがクリアに聞き取れる歌唱は、声楽界においても唯一無二と評判です。また、上智大学グリーフケア研究所認定臨床傾聴士の資格もお持ちなので、グリーフケアのことでもお聞きできればと考えています。昨年は、勤行本の仏教讃歌を全て歌っていただきました。今年は、皆さんからリクエストを受け付けますので、ご希望の曲があれば、超覚寺までお申しひください。どんな曲でもOKだそうです。

☆遺構

去る3/11、宮城県石巻市に行きました。昨年、岩手県陸前高田市の「奇跡の一本松」を見て以来、この日は現地に行かねばという思いに駆られています。

奇しくもその同じ時期に、広島と宮城の新聞が同じようなコラムを掲載していました。【石巻市震災遺構 門脇小学校】



『少し前に訪れた一帯の光景は見違えるようだった。宮城県南三陸町の震災復興祈念公園。震災犠牲者を悼む碑がある丘から、津波の猛威を伝える旧防災対策庁舎の骨組みを見下ろす。向こう側の高台は観光名所の商店街だ▲震災の年に初めて来た折、がれきに埋もれた生々しさに身がすくんだ。3階建ての庁舎を上回る津波に遭い、ここで命を落としたのは43人。残すか壊すか。議論が白熱する中で「県預かり」となり、遺構を平場に残して周りをかさ上げして今に至る▲猶予を置き、震災20年まで議論を一。知事の大岡裁きの期限を前に、この庁舎で生き残った町長が残す決断を下した。私たちも無縁ではないのは原爆ドーム保存の経緯を踏まえたからだ▲永久保存で核廃絶の礎に。もう見たくない。戦後20年余り続いた広島の葛藤は3・11とも確かに重なり合う。異論が残るとしても防災学習の拠点として定着した今、壊す選択肢は町からすれば、考えられないのだろう▲祈念公園からはあの日、牙をむいた海を望む。震災から13年、保存論議の区切りが風化と重なるなら元も子もない。継承と警鐘を、どう実のあるものにするか。重い課題は当然、被爆地にも通じる。(中国新聞「天風録」2024/3/4)』

『トップは孤独だという。東日本大震災で被災した岩手県のある首長が、かつて漏らしていた。常に判断を求められ、決断するのが試練だからだと。震災が突きつけたのは、前例のない課題ばかりだった▼解体か保存か。震災遺構を巡って住民の意見が二分する事態が、東北の被災地で相次いだ。愛する人が亡くなった建物を見るのがつらい」「教訓を伝えるためには必要だ」ともに間違いでいるのがつらい』『住民の分断が心配だった。懸念を払いのける「第3の選択肢」が示されたのは、宮城県南三陸町の旧防災対策庁舎のケース。県が町の施設を「一時預かり」、町と住民は二者択一の縛りを解かれた。考える時間ができた▼県の助け舟を受け入れ8年余、佐藤仁町長は今月、町が保存管理すると表明した。多くの人が訪れる「未来の命を守る役割」を再認識したという。一度決めた解体の判断を覆す状況の変化と冷静さは、時が促したのだろう▼復興はスピードが要だ。事によっては時の経過が必要と知られた。先の岩手の首長は「反対がある限り遺構として残せない」と貴いた。その街にあの日の残像はない。正解なき問いに「判断を急がず」もありと心得、きょうからの14年目を歩もう。犠牲者の無念と遺族の悲しみを忘れずに。(河北新報「河北春秋」'24/3/12)』

広島ドームも、当時は保存に反対意見が多かったようですが、解体されず残っているおかげで、今現代の誰もが原爆の悲惨さを実感できるようになっています。長崎にも「幻の原爆ドーム」と呼ばれる『浦上天主堂』という遺構がありましたが、そのカトリック教会が今も残されています。…どうなっていたのでしょうか。でも、その残酷さの実相を知れば…どちらがいいのでしょうか。でも、その残酷さの実相を知らない後世の者が、解体されたことを非難する資格はありません。ただ、現物は言葉や映像よりはるかに多くを伝えてくれて、そのおかげで私も非核非戦に真摯に向き合えます。当時を知る超覚寺の御門徒からもいろいろ教わりました。これを伝えるのも私の責務です。